

山梨工業会の現状とこれからの課題

山梨大学大学院
医学工学総合研究部
情報システム工学系
古川 進

山梨工業会の歩み

- 昭和 4 年 山梨機工会が組織される
- 11 月 同窓会「山梨工学会」創立
- 昭和 10 年 山梨高工同窓会となる
- 昭和 24 年 山梨高工同窓会報創刊
- 昭和 27 年 「山梨工業会」に名称変更
- 昭和 28 年 山梨工業会報創刊
- 昭和 29 年 奨学資金制度発足
- 昭和 44 年 山梨工業会館落成
- 昭和 46 年 研究助成制度発足
- 平成 9 年 海外渡航助成制度発足
- 平成 12 年 無料英会話教室スタート

工業会館

山梨工業会会員数の推移



工学部のあゆみ

- 昭和 24 年 5 月 山梨大学設置
- 昭和 40 年 4 月 大学院工学研究科修士課程設置
- 平成 元年 4 月 工学部改組（大講座制へ移行）
- 平成 4 年 4 月 博士課程設置
- 平成 14 年 10 月 山梨医科大学と統合
- 平成 15 年 4 月 大学院大学となる
医学工学総合研究科発足

工学部より甲府市街を望む

山梨工業会の事業

- 同窓会活動
 - 同窓会誌の発行（年 2 回）
 - 名簿の発行（2 年ごとに発行）
 - 各支部行事への参加
- 工学部支援関係
 - 教官、学生の海外での発表の旅費補助
 - 成績優秀者を卒業時に表彰
 - 英会話教室（年 2.0 名程度）

工学部構内

教官研究費・旅費の現状

- 教官研究費
 - 年間 20.0 万円程度 / 人（教授・助教授）
 - 他に外部資金（共同研究・委託研究など）
- 旅費
 - 年間 6 ~ 8 万円
 - 他に外部資金（奨学寄付金など）
- 海外渡航旅費
 - 実質的に 0（文科省に申請すれば可能性あり）
 - 外部資金（特に奨学寄付金）
- 学会費、参加費
 - 原則として個人負担

工学部構内

山梨工業会運営上の問題点

- 人格の問題
 - 固定資産が持てない
- 財政の問題
 - 会費収入の減少 → 運営費が赤字
- 工学部への支援の問題
 - 量的な拡大が期待できない
- 事業の制限
 - 収益を伴う事業ができない

工学部構内

山梨工業会法人化への努力

- 昭和56年11月、内田富勲理事長を中心に検討を開始
- 昭和57年2月、第1回法人設立準備委員会（委員長 古屋直臣）

- 社団法人としての設立努力
 - 同窓会色をなくすことが条件であった
- 財団法人への変更
 - 同様に同窓会色をなくす案が検討された

山梨工業会総会において承認されるに至らなかった

工学部構内

中間法人法について

- 平成13年6月公布
- 平成14年4月1日より施行
- いわゆる権利能力のない社団・財団が対象
(同窓会などを主な対象と考える)

工学部校内

中間法人法

- 定義
 - 社員に共通する利益を図ることを目的とすること
 - 剰余金を社員に分配しない社団
 - 社員に共通する利益を図ることが目的

不老園

中間法人の種類

- 有限責任中間法人
 - 同窓会のように大規模なもの
 - 社員が法人の債権者に責任を負わない
- 無限責任中間法人
 - 同好会のように小規模のもの
 - 社員が無限の責任を負う

不老園

中間法人の構成

- 役員
 - 理事長
 - 理事
 - 監事
 - 顧問
- 構成員
 - 社員

県立美術館

中間法人の定款

- 名称、目的、事業内容、所在地など
- 社員
- 役員およびその任期、職務
- 社員総会（議決権を含む）、議事録
- 理事会
- 基金（300万円以上）
- その他（解職など）

県立美術館

中間法人の税務

- 会費および寄付金収入について
会費収入及び寄付金は益金と見なされる。
人件費や事務所の賃借料などの損金を差し引いた課税所得について法人税が課される。
- 事業収入について
課税

県立美術館

山梨工業会の法人化に向けて

- 有限責任中間法人の設立を目指す
- 目的
 - (1) 同窓生の親睦を図る
 - (2) 山梨大学工学部の支援
 - (3) 学生の支援
 - (4) その他

県立美術館

山梨工業会法人化の課題（1）

- 社員
中間法人の最高議決機関は社員総会である。
「社員」と「同窓生全員」は一致するか。
社員総会の定足数はどの程度か

県立美術館

山梨工業会法人化の課題（2）

- 基金300万円の調達
- 山梨工業会の保有財産の中間法人への移管方法
- 課税の有無
など

武田神社

法人化後に向けて

- 同窓会会館の建設
同窓生が気楽に話し合ったり、講演会を開いたりできる場を確保する
同窓生の異業種交流
転職相談 など
- 工学部への支援
魅力ある大学、学部へ
受験生からみた大学の魅力とは
産業界からみた大学の魅力とは

山梨市のフルーツ公園の花

山梨大学工学部の魅力向上

- 知名度アップ
- イメージアップ
- 実力アップ

大学の取り組み

- 山梨医科大学との統合、大学院大学への移行
- COEプログラムの策定、退学勧告制度の制定、
- JABEE教育への取り組み
- など

夏の清里

- 蛇足 -

機械システム工学科情報コースの教育改善について (卒業生の実力アップを目指して)

- 基礎工学演習
 - 毎道試験を行う・習熟度の把握
- コミュニケーション演習
 - 英語劇によるコミュニケーション能力の向上
- 標準問題集の作成と公表
 - 評価方法の統一と公正性の確保
- 授業公開
 - 教官の教育技術の向上、学生のやる気の喚起

清里



ご静聴ありがとうございました

- 製作 古川 進
- 製作協力 古川研究室一同

平成12年度卒業生 →
現在のスタッフではありません